

最終更新日 H25.3.1

改修技術 No. 11112102

性能分野	耐久性・耐用性
大分類	劣化部分の補修、外力の緩和
中分類	屋上防水改修
技術の名称	アスファルト保護防水の改修工法
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト保護防水の改修工法では、劣化状況の確認・診断（摩耗や退色、欠損、剥離、植物など）をした後、全面更新（撤去工法）を行う。 ・撤去工法は、①既存保護層の撤去（立ち上がり部→平場の順）⇒②既存断熱層の撤去（ある場合のみ）⇒③既存防水層の撤去（立ち上がり部→平場の順）⇒④既存下地の補修及び処置⇒⑤防水層の新設⇒⑥断熱層の新設（設置する場合のみ）⇒⑦保護層の新設、の流れで行い、断熱層の有無に応じて工程を追加・削除する。 ・<u>既存保護層の撤去</u> 既存保護コンクリートなどの撤去は、ハンドブレイカー等を使用し躯体や他の仕上げ材に損傷を与えないように注意する。すべて手ばつりにしなければならない場合は工期および費用の見直しが必要である。 ・<u>既存防水層の撤去</u> <ul style="list-style-type: none"> ・既存防水層をスクレーパー、ワイヤブラシ等により除去し、清掃を行なう。除去できないアスファルトは、バーナーなどにより加熱溶融して平坦にする ・下地面の目地部分及び大きな亀裂は、調整材をゴムベラなどで塗布し、テープ（100mm幅）で処理する。 ・防水層のしわや膨れ等の下地から浮いている箇所は撤去し、調整材とマットによる増し張り、又はポリマーモルタルを用いて周囲と同じ平面とする。 ・<u>下地調整</u> 下地は平坦にし、十分乾燥させる。排水勾配は排水に支障がない程度にする。出隅・入隅、立ち上がり・あご、架台回りも注意して調整する。 ・<u>防水層の新設</u> アスファルト防水層を新設する。 ・<u>保護層の新設</u> 保護コンクリートには、ひび割れ防止の溶接金網を敷きこむ。立ち上がり部の保護は湿式（レンガ、モルタルなど）・乾式（ボードなど）の二つの工法がある。 ・改修後の性能 防水性能の回復



保護層（ブロック）の撤去



防水層の復旧



施工後

（出典：屋根外断熱防水の修繕手法に関する調査研究
2001年（財）ベターリビング）

共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	<input type="checkbox"/> 調査・診断技術 <input checked="" type="checkbox"/> 改修技術（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化を補修する技術 <input type="checkbox"/> 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1)	使われる可能性が相当ある
		S55年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2)	使われる可能性が相当ある
		S56～H2年供給(総プロB)	使われる可能性が相当ある
		H3～12年供給(総プロC)	使われる可能性が相当ある
		H13年以降供給(総プロD)	使われる可能性が相当ある
	(補足) —		
常にセットで利用される技術	<当技術を適用する前に実施する調査診断技術> アスファルト保護防水の調査 (No. 21112102) <当技術を適用する前の劣化部分の除去技術> 劣化部の除去工法 (No. 11111101)		
技術が適用される建物の部位	<input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 (<input type="checkbox"/> 躯体・外壁 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 設備・配管等 <input type="checkbox"/> その他共用部) <input type="checkbox"/> 専有部分 (<input type="checkbox"/> 設備・配管 <input type="checkbox"/> その他専有部分) [設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 () <input type="checkbox"/> 注意すべき主な法令 ()]		
団地で適用した場合のメリット	<input type="checkbox"/> 住棟まわりの土地が利用できること (仮設以外) () <input type="checkbox"/> まとまった土地が利用できること (仮設以外) () <input type="checkbox"/> 住宅の数が多く密度が高い () <input type="checkbox"/> 特定の設備があること ()		
足場の設置が必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 (工事の内容・状況によっては該当しない場合がある)		
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 ()	
	一時的な影響が発生	<input type="checkbox"/> 断水などライフラインが一時的に利用不可 <input checked="" type="checkbox"/> 振動 <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 粉塵 <input checked="" type="checkbox"/> 臭気 <input type="checkbox"/> その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 ()	
	工事後に続く影響が発生	<input type="checkbox"/> 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限 () <input type="checkbox"/> 日照・採光等への影響 ()	
当該技術が利用される工事	<input checked="" type="checkbox"/> 計画修繕工事 (<input checked="" type="checkbox"/> 劣化の補修 <input type="checkbox"/> 性能の向上) <input type="checkbox"/> 耐震改修工事 (<input type="checkbox"/> 耐震性の向上 <input type="checkbox"/> 他の性能の向上)		
技術的境界	—		
参考資料	技術情報	・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成22年版」（財）建築保全センター ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針 平成22年版」（財）建築保全センター	
	価格情報	・「マンション Re」（一財）経済調査会	